

2021年4月20日

各位

会社名	株式会社	WDI
代表者名	代表取締役	清水 謙
		(JASDAQ・コード 3068)
問合せ先	取締役 管理本部本部長	佐々木 智晴
		(TEL.03-3404-3704)

## 特別利益・特別損失の計上、法人税等調整額の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）において、特別利益・特別損失の計上及び法人税等調整額の計上を行う見込みとなりましたので、お知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、2020年11月11日に公表いたしました2021年3月期通期の連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別利益の計上について

新型コロナウイルス感染拡大防止のための政府・自治体からの要請に伴う店舗臨時休業等に対し、実施されました雇用調整助成金及び時短協力金等で373百万円を、助成金収入として特別利益に計上する見通しです。

#### 2. 特別損失の計上について

##### ・個別決算

連結子会社の財務内容を勘案し、連結子会社に対する債権残高に対し、関係会社貸倒引当金繰入額556百万円を特別損失に計上する見通しです。

なお、個別決算上で計上される当該損失は連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

##### ・連結決算

##### (1) 臨時休業による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府及び各自治体からの各種要請等を踏まえ、国内外の店舗で臨時休業や営業時間の短縮を実施しました。これに伴い、店舗の臨時休業中の人件費、賃借料及び減価償却費を「臨時休業による損失」として特別損失に554百万円計上する見通しです。

## (2) 減損損失及び店舗閉鎖損失

店舗の閉店及び「固定資産の減損に係る会計基準」に従って業績低迷等により当初予定していた収益が見込めないと考えられる店舗等の固定資産等について、「減損損失」として1,307百万円、「店舗閉鎖損失」として100百万円を特別損失に計上する見通しです。

なお、上記の特別利益及び特別損失は、2021年2月9日付「特別利益及び特別損失の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました内容を含めております。

## 3. 法人税等調整額の計上について

最近の業績等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産の一部取崩しが発生、また租税特別措置法の規定による資産買換えの特別勘定の設定を申請することによる固定資産圧縮積立金に係る繰延税金負債を計上する見通しです。その結果、個別決算において法人税等調整額に1,021百万円、連結決算において法人税等調整額に1,309百万円を計上する見通しです。

## 4. 2021年3月期 連結業績予想の修正

### (1) 通期連結業績予想の修正 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,500	△1,400	△1,500	1,200	189.53
今回修正予想 (B)	15,815	△1,423	△1,477	1,685	266.18
増減額 (B-A)	△684	△23	22	485	
増減率 (%)	△4.1%	—	—	40.4%	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	29,876	406	360	△622	△98.28

### (2) 修正の理由

売上高につきましては、主に業績予想の公表時点では想定していない新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う、2度目となる緊急事態宣言の発出やそれに伴う店舗の営業時間短縮要請に応じたこと等により、前回予想を下回ることとなりました。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高減少の一方でコスト削減等による費用の抑制が奏功したため、前回予想から大きな乖離とはなりませんでした。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前述の「1. 特別利益の計上について」「2. 特別損失の計上について」「3. 法人税等調整額の計上について」の影響等により、前回予想を上回る見通しです。

以 上